

元NHKプロデューサー

にしむら よしき
西村与志木氏講演会

講師プロフィール

現・伊那市長谷生まれ
1976年、東京大学文学部卒業後NHKへ入局。大河ドラマ「独眼竜政宗」(1987年)に演出で携わった後アメリカ総局特派員としてロサンゼルスに派遣され、3年にわたり映画制作を学ぶ。帰国後、連続テレビ小説「かりん」(1993-1994年)、大河ドラマ「秀吉」(1996年)でプロデューサーとして制作統括に携わる。その後ドラマ番組部長を3年務め、2006年にNHK放送総局エグゼクティブプロデューサーに就任。NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」(2009-2011年)制作に携わる。

第48回 桜大学 第1講座

入場無料
申込不要

朝ドラ、大河、 ドラマはこう生まれる

令和8年 **4.29** [水・祝]
13:30～ ※開場13:00

会場 高遠町総合福祉センター やますそ
〒396-0211 長野県伊那市高遠町西高遠1644

駐車場 お車でお越しの方は、高遠町総合福祉センター やますそ 第1・第2駐車場をご利用ください。



NHKの朝ドラ（連続テレビ小説）は、1961年放送開始から65年、大河ドラマは63年—。これだけ長く続くドラマ番組は世界のテレビ界でも極めてまれである。その長寿の秘訣はどこにあるのか。そしてマンネリ化という壁をどう乗り越えてきたのか。

今回、NHKプロデューサーを勤め、数々のドラマ制作に携わられてきた西村与志木氏をお招きし、昭和、平成、令和という時代の流れとともにNHKドラマの歴史をひも解くご講演をいただきます。また、3年にわたり放送されたスペシャル大河ドラマ「坂の上の雲」が制作されるに至った裏側や、ドラマ以上にドラマチックなエピソードを、映像と共にご紹介いただきます。